

PG-70V

PG-70Vは、“ちよい待ち”やネットマークなどカラー静止画を内蔵フラッシュメモリーに記録し、FILL, KEY 信号を出力します。FILL, KEY 出力信号は 2 レイヤー合成出力も可能です。

カラー静止画はパソコンなどで作成した JPEG ファイルを筐体実装の LAN から専用アプリケーションで LG-70V へ転送(アップロード)します。静止画は最大 16 枚登録することができ、プリセットパターンとして任意の静止画 2 枚をプリセットすることができます。プリセットパターンには表示位置、自動送出モード等の設定を持つことができ、専用アプリケーション又はモジュール正面操作機で設定変更を行います。プリセットパターンは 10 パターン登録でき、外部 10 接点で制御することができます。

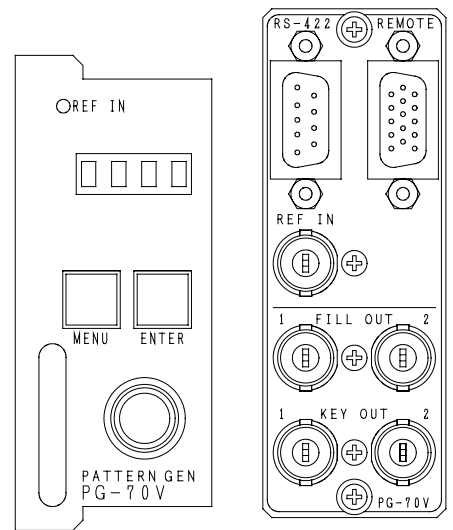
■特長

- ✓ CH1(レイヤー1), CH2(レイヤー2)を合成して出力 ※1
- ✓ 任意に選択したファイルを指定の時間で切り替えて送出する自動送出モード搭載
- ✓ 静止画ファイルはフラッシュメモリーに保存
- ✓ 電源投入時に全ての静止画をフラッシュメモリーから描画メモリーに転送しますので、瞬時に画面を切り替えることが可能
- ✓ リファレンスは BBS 信号、3 値 SYNC に対応
- ✓ 静止画ファイルは最大 1920×1080 ドットです。(525i は 720×486 ドット、625i は 720×576 ドット)
- ✓ カラー静止画ファイル(JPEG、TARGA、TIFF)は専用アプリケーションで転送 ※2
- ✓ 1 つのモジュールからリファレンス信号を他のモジュールに分配する REF MASTER/SUB 機能搭載 ※3

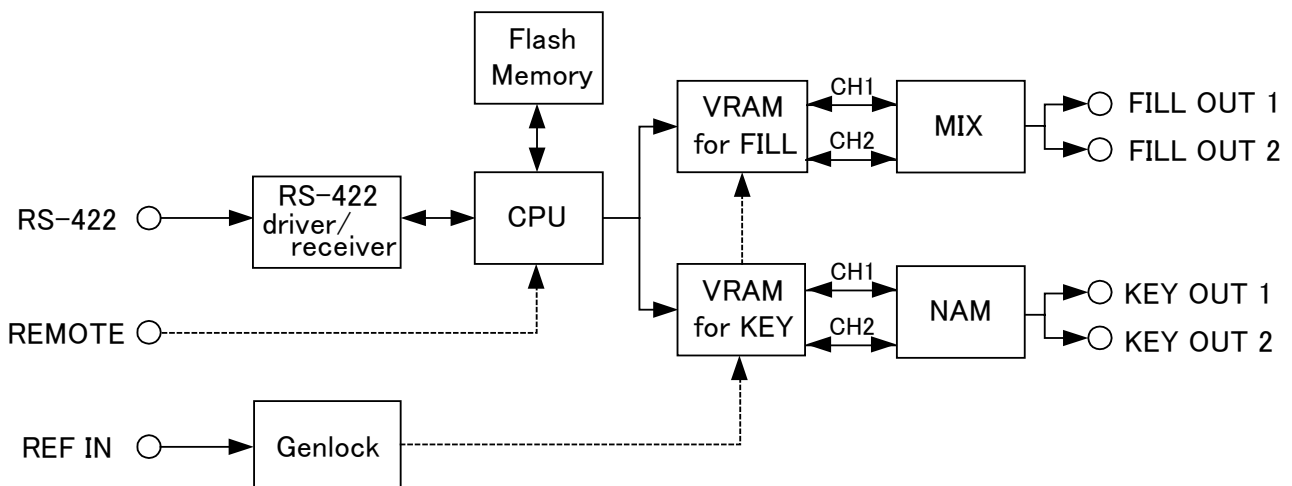
※1 プライオリティは CH1(レイヤー1)が上になります。

※2 専用アプリケーションは、付属の CD-ROM から PC にインストールしてご使用ください。

※3 同一筐体内に、他のコントローラ系モジュール(TLG-70BC、VT-70BC 等)が存在する場合、REF MASTER モードは使用できません。



ブロック図



機

能

静止画ファイル

- ・画像サイズ
- ・転送画像フォーマット

HD: 1920 × 1080、SD: 720 × 486 (525i)、720 × 576 (625i)

JPEG形式

32bit非圧縮TIFF形式(RGB α)

非圧縮TARGA形式(αチャンネル付き)

※JPEGファイルを表示するときのKEY出力は、100%キーを出力します。

- ・登録枚数

16枚 (Key付き静止画)

静止画ファイルの転送は専用アプリケーションで行います。

- ・プリセット

フラッシュメモリーに記録した16枚の静止画の中から任意の2画像を選択し、プリセットパターンとして10個登録できます。表示位置設定等は専用アプリケーション又はモジュール正面操作機で行います。

外部制御

- ・プリセット選択

登録したプリセットパターンは10個の接点で直接切り替えることができます。接点入力後、2フレームで切り替わります。

専用アプリケーション推奨動作環境

- ・OS: WindowsXP Professional/Home Edition ServicePack 2 以上

注)WindowsVISTA、Windows7をご使用の場合はファイアーウォールの設定を無効にしてください必要があります。

- ・CPU: Pentium4 1GHz 以上
- ・RAM: 512MB 以上
- ・ハードディスク空き容量: 300MB 以上
- ・モニタ: 1024 × 768 ピクセル以上 65536 色以上
- ・LAN: 10/100BASE RJ-45 端子

操作概要

本体前面のディスプレイと、MENU、ENTER ボタンで下図の操作が出来ます。

MENU	設定項目	設定値	説明
FORMAT	FORMAT	【FORM】	映像フォーマットを選択します。
	59i	【 59i 】	1080i/59フォーマット
	50i	【 50i 】	1080i/50フォーマット
	525i	【 525i 】	525i/59フォーマット
REFERENCE	625i	【 625i 】	625i/50フォーマット
	REFERENCE	【 REF 】	リファレンス信号分配モードを選択します。
	EXT_DIRECT	【 EDIR 】	REF信号に同期し、リファレンス信号を分配しません。
PRESET	EXT_MASTER	【 EMST 】	REF信号に同期し、リファレンス信号を分配します。
	EXT_SUB	【 ESUB 】	REF信号を筐体内バスから受信します。
PRESET1	PRESET	【 PRE 】	プリセットパターンを設定します。
	PRESET1	【 PRE1 】	PRESET1の設定です。
	CH1	【 CH1 】	CH1の設定です。
	DISP	【 1<1 】	CH1に出力するファイルを1～16で選択します。
	DISP	【 DISP 】	CH1の表示/非表示を選択します。
	ON	【 ON 】	CH1を表示します。
	OFF	【 OFF 】	CH1を非表示します。
	H POSI	【 H 】	水平方向の表示位置を設定します。
	V POSI	【 0 】	HD:0～1919, SD:0～719の範囲で設定します。
	KEY LEVEL	【 V 】	垂直方向の表示位置を設定します。
	KEY LEVEL	【 0 】	HD:0～539, 525i:0～242, 625i:0～287の範囲で設定します。
	CH2	【 KLEV 】	KEYレベルを設定します。
	AUTO	【 100 】	0～200の範囲で設定します。元のKEYレベルを100とします。
	AUTO	【 CH2 】	CH2の設定です。
	AUTO RUN	【 AUTO 】	自動送出モードの設定です。
	ON	【 ARUN 】	自動送出モードのON/OFFを選択します。
	OFF	【 ON 】	自動送出モードをONにします。
	FILE	【 OFF 】	自動送出モードをOFFにします。
	H POSI	【 1_* 】	自動送出させたいファイルを1～16で選択します。*は選択ファイル。
	V POSI	【 H 】	水平方向の表示位置を設定します。
KEY LEVEL	【 0 】	HD:0～1919, SD:0～719の範囲で設定します。	
TIME	【 V 】	垂直方向の表示位置を設定します。	
LOOP	【 0 】	HD:0～539, 525i:0～242, 625i:0～287の範囲で設定します。	
ON	【 KLEV 】	KEYレベルを設定します。	
OFF	【 100 】	0～200の範囲で設定します。元のKEYレベルを100とします。	
PRESET10	【 1s 】	ファイル切り替え間隔を1sec～60secの範囲で設定します。1sec単位。	
CONTROL	【 LOOP 】	自動送出のループ再生ON/OFFを選択します。	
REMOTE	【 ON 】	自動送出のループ再生をONにします。	
PRESET1	【 OFF 】	自動送出のループ再生をOFFにします。	
PRESET10	【 PR10 】	PRESET10の設定です。	
REMOTE TAKE	【 CONT 】	制御方法を選択します。	
ALTERNATE	【 REM 】	GPI制御します。	
TRIGGER	【 PRE1 】	PRESET1を出力します。	
OUTPUT PHASE	【 PR10 】	PRESET10を出力します。	
H PHASE	【 RTK 】	外部制御TAKEのオルタネイト/トリガーを選択します。	
V PHASE	【 ALT 】	外部制御TAKEをオルタネイト制御します。	
VERSION	【 TRIG 】	外部制御TAKEをトリガー制御します。	
	【 PHAS 】	リファレンスに対する出力信号の位相調整を行います。	
	【 H 】	水平方向の位相調整です。	
	【 0 】	HD: ±1920, SD: ±720の範囲で設定します。	
	【 V 】	垂直方向の位相調整です。	
	【 0 】	HD: ±562, SD: ±262の範囲で設定します。	
	【 VER 】	本機のバージョン情報を表示します。	

入力信号	
・ REF IN	BBS、0.43V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統 または3値SYNC、0.6V _{p-p} /75Ω、BNC)
出力信号	
・ FILL OUT 1、2	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 各1系統
・ KEY OUT 1、2	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 各1系統
外部/F	
・ REMOTE(PARALLEL)	Dsub-15(f)高密度タイプ、インチネジ 1系統 接点入力×11
・ RS-422	Dsub-9(f)インチネジ 1系統
映像フォーマット	HD: 1080i/59.94、1080i/50 SD: 525i/59.94、625i/50
動作温度	0~40°C
動作湿度	20~80%RH(但し、結露なきこと)
消費電力	6VA (5V,1.2A)

性能

出力特性

・ FILL OUT、KEY OUT

分解能	8bit
サンプリング周波数	HD: 74.18MHz、SD: 13.5MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%/75Ω
反射減衰量	HD: 5 MHz~742.5 MHz、15 dB 以上 HD: 742.5 MHz~1.485 GHz、10 dB 以上 SD: 5 MHz~270MHz、15 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD: 270ps 以下(20%~80%間) SD: 0.4ns~1.5ns(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD: 1.0UI、SD: 0.2UI

REMOTE仕様(PARALLEL)

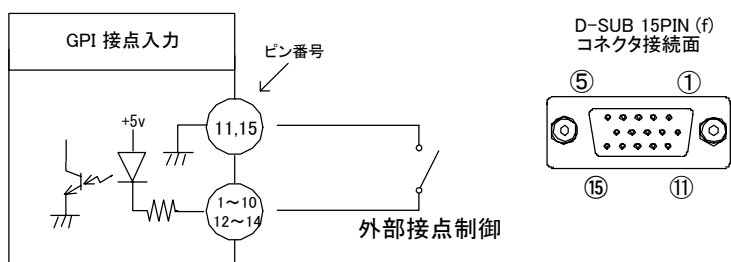
APCなど外部装置から表示画面の切り替え制御ができます。

ピン番号	信号	機能
1	PI0	プリセット 1~10 ※1、※2
2	PI1	
3	PI2	
4	PI3	
5	PI4	
6	PI5	
7	PI6	
8	PI7	
9	PI8	
10	PI9	
11	GND	グラウンド
12	PI10	TAKE: 自動送出のスタート制御 ※2、※3
13	PI11	未使用
14	PI12	未使用
15	GND	グラウンド

※1 100msの接点トリガーで制御します。後取り優先です。複数のトリガーが同時に発生した場合、プリセット番号の若番が出力されます。

※2 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※3 オルタネイト制御/トリガー制御切替可。

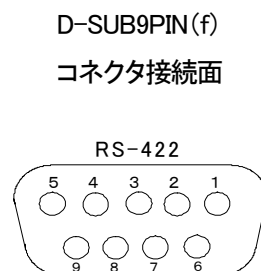


RS-422仕様

通信速度 19200bps

ビット構成 スタート:1ビット データ:8ビット パリティ:なし ストップ:1ビット

ピン番号	信号名	入出力
1	GND	-
2	TXD-	出力
3	RXD+	入力
4	GND	-
5	+5V_OUT	-
6	GND	-
7	TXD+	出力
8	RXD-	入力
9	GND	-



※GPI-70V 接続用コネクタ

※注外觀及び仕様は変更することがあります。